



日本共産党
市議会議員団
週刊議会報告
【発行】
魚谷さとる
(0848-22-2810)
岡野長寿
(0845-22-2596)

『市議選、参院選』の躍進に向け熱気あふれる

—「新春のつどい」に100名が参加—

1月27日(日)の午後、栗原町の「スーパー・メイト」で、日本共産党尾道市後援会主催の「新春のつどい」が開かれ、市内各地から100名が参加し、市議会議員選挙、参議院選挙での躍進に向けて熱気あふれる集会になりました。集会の第1部では、小林文昭後援会長、高見あつみ参議院広島選挙区予定候補、三浦とおる市議があいさつしました。岡野長寿市議、魚谷さとる市議があいさつしました。第2部ではバンドによるミニコンサート、女性後援会の全員合唱、ハーモニカ演奏、マジックが披露されました。

消費増税ストップ、憲法生かした日本に 高見あつみ 参院選挙区予定候補

国へと変え、「憲法9条改定」に執念を燃やしているが、憲法を変えさせてはいけない。政治を変える力は市民と野党の共闘だ。「本気の共闘」をすすめ、安倍政治を終わらせよう。そのためにも日本共産党を大きくして欲しいと訴えました。



子どもたちが生き生きと学べる教育を 三浦とおる 教育対策委員長

三浦とおる教育対策委員長は、今年の教育システムは限界が見えている。子どもたちの価値観の多様化、様々な特性を持った子どもたちが管理された学校のシステムの一斉授業や一律な価値観の名のもとに教室から追いつけられかけている。

高見あつみ予定候補は、消費税について、増税で一世帯あたり年間8万円の負担増。景気の低迷が続いている中での増税は許されない。財源は儲けている大企業と富裕層に儲けにふさわしい負担をしてもらえば生まれる。



また、管理教育のもとで、子どもたちが身につけるべき「生きる力」がないがしろにされている。教員も機械のように扱われ、学校は人間と人間の関わりを学習していく場ではなく、なってきたり、そうした教育のシステムを少しでも変えていきたいと述べました。

「くらし第一の市政」実現に全力で 岡野長寿 市議会議員

岡野市議は5期目への挑戦の決意表明と、共産党議員団の4年間の実績及び政策提案を行いました。実績では、子ども医療費助成の拡大、教室へのエアコン設置、国保料や介護保険料が値上げにならないよう論戦をしたこと。豪雨災害の被害を減らすため、

議員の役割をしっかりと果たす議員が必要 魚谷さとる 市議会議員

魚谷さとる市議は平谷市政について、市民の願いに寄り添っているとは言えない。その中で議会は共産党を除いてすべて市長提案に賛成している。だからこそ市議会議員の役割が大切である。議員の役割の一つは、市民の願いを行政に伝えること。

第2部は楽しく「歌って、笑って」

そのためにはしっかりと発言することが必要。昨年の3日間の決算委員会でも、党市議団は2人で4割以上の質問をした。もう一つは行政のチェックで、それは市長の提案にどういう態度を取るかだ。昨年は207の議案の内、14に反対した。今後この姿勢を貫いていくのでご支援をとおりました。

